



竜北中図書館通信



令和4年10月（文責：本田）

☆～読書を楽しもう～ハロウィン大作戦

10月に入り、食べ物がおいしい季節になりました。

図書委員会では、毎年要望がある『ハロウィン大作戦』を今年も実施することにしました。

10月11日～14日の1週間、皆さんに本を沢山読んでもらうために、本を借りた人には、しおりをプレゼントします。読書の楽しさを味わいましょう。



☆2022・第76回読書週間(10月27日～11月9日)

～10月27日は『文字・活字文化の日』です～

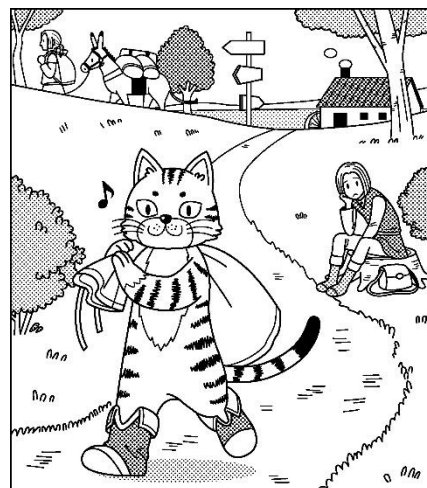
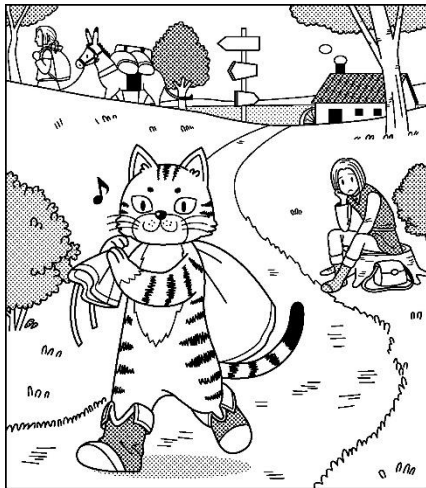
標語『 この一冊に、ありがとう』

(作者のことば) 天野 耕平さん

読書で心が震える体験は、何ものにも代え難い奇跡のようなものだと思います。そして自分の未来には、そんな奇跡がまだまだたくさん待っているという妙な確信もあります。本に関わっているすべての人に感謝を伝えたいです。



ねこは、ご主人さま(末っ子)に長ぐつをもらって大喜び。ふくろをかついで、森へでかけていきますが……。
下の2枚のイラストには5つのまちがいがあります。いくつ見つけられるかな？



答え：①左上・ロバの足 ②上中央・道しるべ ③右中央・右足の位置 ④猫のしっぽの向き ⑤猫の手のしまの数



よかったら、よんでみてね



『マッシュル マッシュ・バーンデッドと冒険の書①』

甲本 一/星 希代子・作（集英社）

ここは魔法界。魔法が当然のものとして使用される世界。そんな魔法界の森の中で、日々筋トレに励むマッシュという少年がいた。マッシュの秘密は魔法が使えないこと。その秘密を他人に知られた時、日常が一変する。



『 僕、はまじ 』

浜崎 憲孝・著（彩図社）

アニメ「ちびまる子ちゃん」に登場するお調子者キャラの「はまじ」はこの本の著者であり、実在の人物です。

まる子や戸川先生のリアルな姿から日常風景まで、はまじの視点から3年4組が描かれています。

著者が漫才師を目指して上京した話や通信制の高校に通った話など、マンガやアニメでは語られない人生がありました。



『世の中に悪い人はいない』

ウオン・ジェフン・著（KADOKAWA）

仕事や勉強、私生活など心が疲れているあなた。心の奥にしまっていた「あの時」や人々の記憶が温かくよみがえります。

自分の周りにはいつも影から温かく見守っていてくれる人がいるのです。

BTSのJ-HOPE氏が紹介した短編集です。



『夢をかなえるゾウ ○（ゼロ）』

水野 敬也・著（文響社）

パワハラ上司に悩まされながら毎日会社に出勤している主人公とインドの神様でゾウの頭をもつガネーシャ。ガネーシャはなぜか関西弁を話し、ノリもツッコミもできます。そしてガネーシャは、この平凡な会社員を「宇宙一の偉人に育てる」と宣言します。

今は自分にとっていい結果がでなかったとしても、人生を長い目で見たときには、必ず自分の糧になっているということがわかります。

夢がない、やりたいことが見つからない・・・と思っている人にはヒントが見つかるかもしれません。